

開講学科	基礎教育センター	前橋工科大学 シラバス			
科目名	経済学	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		1・2年次	選択	11000901	
担当教員	中野正裕	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	木曜日	2時限
授業の教育目的・目標	広汎な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。				
学科の学習・教育目標との関係	大学生として必要な教養と倫理観を身に付ける。				
キーワード	経済発展、資源配分、市場機能とその限界、ミクロ経済分析・マクロ経済分析、経済政策				
授業の概要	授業では、主にマクロ経済学とよばれる学問体系の基礎部分を解説する。経済理論の学習を通じて、ニュースや新聞で目にする経済成長率、為替レート、物価、株価、利子率などの経済変数の動きや金融政策、税制といった経済政策の役割について理解することが目標である。				
授業の計画	第1回：	ガイダンス：経済学とはどのような学問か			
	第2回：	ミクロ経済学とマクロ経済学の分析枠組み			
	第3回：	GDPの定義			
	第4回：	GDPの三面等価			
	第5回：	GDP統計が説明できること、できないこと			
	第6回：	経済成長の重要性と戦後日本の動向			* 定期テスト実施
	第7回：	経済成長を説明する経済理論			
	第8回：	経済成長と技術進歩の測定			
	第9回：	消費のマクロ分析：基礎編（ミクロ経済学的アプローチ）			
	第10回：	消費のマクロ分析：応用編（ライフサイクル仮説と恒常所得仮説）			
	第11回：	投資のマクロ分析：基礎編（現在価値の測定）			* 定期テスト実施
	第12回：	投資のマクロ分析：応用編（投資の変動をもたらす要因）			
	第13回：	労働市場と失業：基礎編（競争的な労働市場のケース）			
	第14回：	労働市場と失業：応用編（労働市場の特殊性と失業）			
	第15回：	学習内容の総括と問題演習			
受講条件・関連科目	具体的な前提条件は設けない。ただし、現実経済の動きを理解したいという意欲をもって受講して欲しいと考える。				
授業方法	授業計画に沿って基礎的な解説を行い、その後いくつかの演習問題（公務員試験や経済学検定試験[ERE]の過去問など）を実際に解きながら、内容に関する理解を深めていく。				
テキスト・参考書	「教科書」柴田章久、宇南山卓『マクロ経済学の第一歩』有斐閣 （教科書を中心に講義を進める。参考書は指定しない）				
成績評価	・試験（100%） 定期テスト（2回）と期末試験の合計点で評価する。				
履修上の注意	定期テスト、期末試験の方式や内容は、原則として実施する2週前の講義時に告示する。 質問は原則として授業終了後の休み時間に教室で受け付ける。 メール連絡先 [e-mail : mnakano@tcue.ac.jp] ただし全ての相談に対応するとは限らないので注意。				